

環境調査結果のお知らせ

令和7年10月30日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で10 cells/mL、麻痺性貝毒原因種であるアレキサンドリウム属が最高で1 cell/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロシグマ・ アカシオ	珪藻	アレキサンドリウム 属
A 鳴無 (4.6m) 【10:19】	0	24.4	32.3	6.8	0	-	0
	2	24.4	32.3	6.8	0	-	0
	3	24.4	32.3	6.8	0	-	0
	5	24.3	32.3	6.6	0	-	0
	底層	8	24.1	32.3	6.4	0	-
B 中学校前 (5.7m) 【10:27】	0	24.7	32.3	5.9	0	5,000	0
	2	24.7	32.4	5.8	0	3,350	0
	5	24.7	32.4	5.7	0	2,100	0
	10	24.7	32.4	5.6	0	3,400	0
	底層	11.5	24.6	32.4	5.5	0	1,150
C 目ノクソ (6.8m) 【10:37】	0	24.9	32.3	5.9	0	-	0
	2	24.9	32.4	5.9	0	-	0
	5	24.9	32.4	5.8	0	-	0
	10	24.8	32.4	5.8	0	-	0
	底層	15.5	24.8	32.8	5.6	0	-
D 光松 (7.7m) 【10:49】	0	24.9	32.4	5.6	0	1,200	1
	2	24.9	32.5	5.6	0	1,650	0
	5	24.8	32.5	5.4	0	1,000	0
	10	24.8	32.5	5.5	0	450	0
	底層	16.5	24.8	32.7	5.3	0	360
E 大鹿 (7.5m) 【11:01】	0	24.9	24.7	6.2	0	-	0
	2	24.9	24.9	6.1	10	-	0
	5	24.8	25.0	5.9	0	-	0
	10	24.7	32.4	5.6	0	-	0
	底層	16	24.8	32.8	5.4	0	-

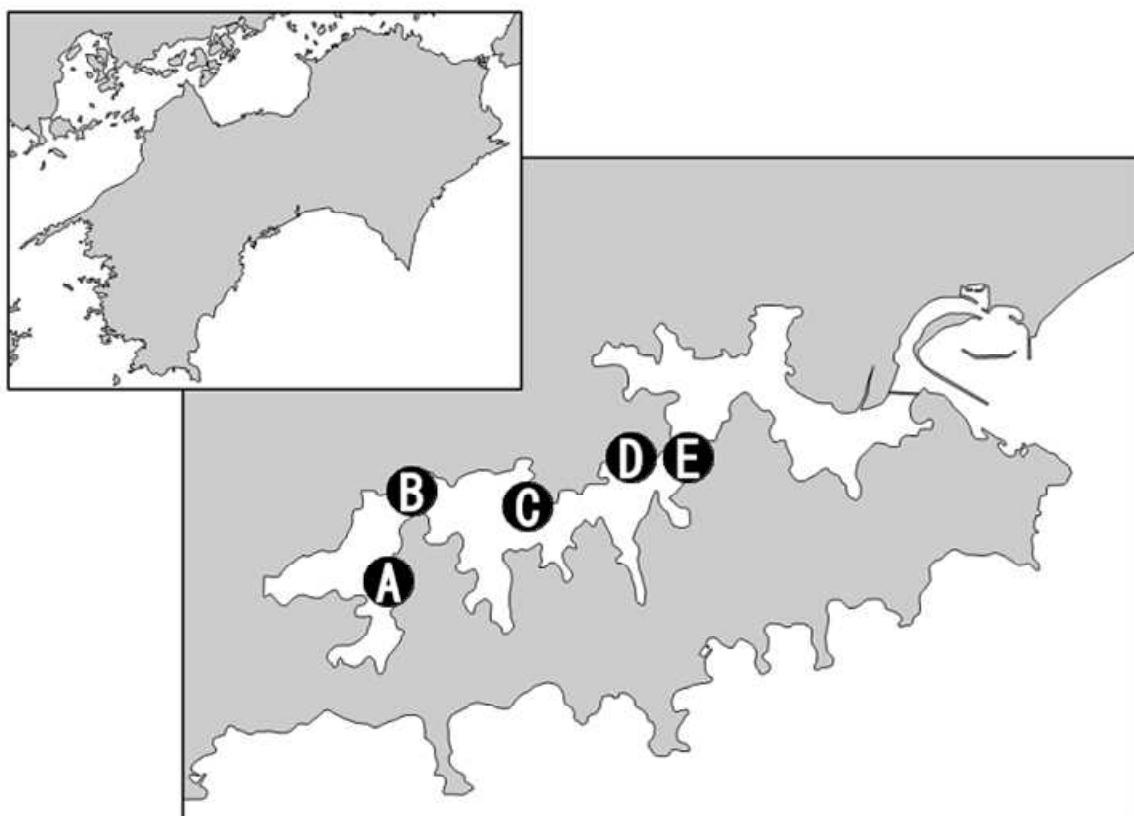
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3	
				浦ノ内湾	
ヘテロシグマ・アカシオ	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	
アレキサンドリウム属	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL		—

※1 注意基準：餌食の悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 鳴無

B: 中学校前

C: 目ノクソ

D: 光松

E: 大鹿